



学校経営方針

「凧とした学校(凧貫学校)を目指して」

教育目標

自ら学び、自ら考え、生き生きと活動する長松っ子の育成



令和2年5月22日 3号 文責 長松小学校 校長 佐々木講吉



かたつむり
そろそろ登れ 富士の山

小林 一茶の一句である。
わずかな一歩であろうとも、目標
に向かって焦らず、根気よく進めば
いつかは達成する。こう解釈してい
る。

さて、学校再開後の子ども達の様子は思っ
たよりも元気。欠席児童数が一桁台と続き、二
十日(水)には欠席ゼロ！ 長い教職の中でも
めったにあることではないため、これには感動
した。しかし、続くとは思えない。

子どもたちなりに
不安はある。友達や学
習への不安。生活リズ
ムの変化からくる体
調不良。子どもによって不安は様々。目に見え
ない子どもの声なき声が聞こえるだろうか？

「.....」



ゼロの数字は結果。大切なのは、その過程で
あろう。カタツムリのようにゆっくりでいい。
教師と親とで、子どもの声なき声を少しでも察
知したい。そして、話を聞いて(寄り添い)、徐々
に背中を押してやりたい。
それが、いきいき活動させる秘訣だ！



1年 給食風景



2年 ミニトマト栽培



子ども達、がんばっています！



3年 体育授業風景



4年 朝読書風景